

## 令和4年度 市長と語るまちづくり懇談会（富田西地区）会議録

日 時：令和4年9月28日（水）午後1時30分から午後3時まで

場 所：地域交流センター「ほのぼの会館」

テーマ：地域で語るまちづくり

出席者：周南市長

富田西地区コミュニティ推進協議会

新南陽総合支所（総合支所長、総合支所次長） ほか

シティネットワーク推進部（部長、市民の声を聞く課長） ほか

### 1 懇談会の流れ

- (1) 開会
- (2) 富田西地区の活動等について紹介
- (3) 懇談
- (4) 閉会

### 2 富田西地区の行事や活動などについて

○主な活動としては春に市民運動会、夏に夏祭り、新春に永源山公園で御来光の集いを行っている。また、ウォーキングやグランドゴルフ等の競技も進めている。しかし、コロナ禍でここ3年具体的な活動ができていない状況である。

### 3 頂いた主な御意見

○地域活動の拠点となる場所を作ってほしい。中央公民館が無くなり学び・交流プラザができ、名目上は地域の活動拠点となっている。しかし専任の主事が配置されておらず、活動の拠点となっていないのが実態である。

○富田西小学校はグラウンドの出入口が1つで狭いため、引渡し訓練の際はスムーズにいても、緊急時にスムーズに行くか心配である。出入口を分けることを要望する。グラウンドの東側に、蓋をすれば車が通ることができるような道があるので活用してはどうか。また、以前都市計画道路があったがどのようになっているか。

○空き家が増えている。車が入れないので家が売れないことが要因の1つである。車が入れる道を作るってほしい。消防車も入れないので火事が起きたら一帯が全焼してしまうことも考えられる。

○大神地区には公園、遊ぶ場所、公民館、集会所がないので、ほのぼの会館の近くにベンチを置けるくらいの公園を作ってほしい。子どもがほのぼの会館に来たときの主な遊ぶ手段はゲームに限られるが、公園があれば外で遊ぶことを勧めることができる。ほのぼの会館の隣接の公園であれば、年2回の自治会での掃除の際に草抜きができる。

○ほのぼの会館前の用水路の石垣が陥没しているので対処してほしい。担当課によると市では対応できないということで、そのままになっている。

○旧富田西幼稚園の今後の活用方針を聞きたい。付近の道を通る時に桜の枝が伸び、虫が落ちてくるので、安全で適正な管理をしてほしい。

- 徳山駅前に、県内の駅では例のないからくり時計を作れば皆の憩いの場になると思う。1時間おきにまどみちおさんのぞうさんなどのメロディーが流れるようにする等考えると夢がある。クラウドファンディングを使ってみるといい。
- ほのぼの会館は土砂災害の際の避難所になっていない。新南陽高校は富田東地区の住民の避難所である。ほのぼの会館に避難したとしても多くの人はいれない。実質的に大神地区の住民は避難する場所がない。
- 地区は広く北側と南側と中心部で状況は違うのに、1つの防災計画を策定することに無理がある。富田中学校を境にして、浸水被害の危険性が高い南側、土砂災害の危険性が高い北側と分けて考えればいいと思う。
- 富田西小学校で行事がある時に違法駐車が目立つ。楠本浄水場の駐車場を土日だけでも開放してほしい。

#### 4 市長の主なコメント

- 市では富田地区の地域づくりの支援体制のあり方について、活動拠点として富田地区のコミュニティセンターを市民センターに移行できないか、富田地区内の他の公共施設に団体の活動拠点としての専用スペースが設けられないか、人員配置について学び・交流プラザ内に富田地区の地域づくりを担う専任の職員を配置できないか、新南陽総合支所に市民センター主事の役割を担う専任の職員を新たに配置できないか等を検討している。引き続き地域の皆様と協議しながら支援対策強化に努めたい。
- 富田西小学校の子ども引渡しだけでなく、災害はいつどこで起こるか分からない状況の中で総合的に方策を考えておかなければならない。例えば引渡しの時のルールを決定するなど、しっかりと検討したい。富田西小学校グラウンドの東側の蓋をすれば車が通ることができる道については、まずは状況を確認したい。
- 大神地区内の公園は、データだけ見ると設置数としては十分だと思ってしまう。永源山公園は市外、県外の人にはいい公園かもしれないが、大神地区には身近なコミュニティが利用できる公園がないことを認識することができた。
- ほのぼの会館前の用水路の石垣が陥没している件は、赤線、青線といわれる通路や水路の管理は地域にお願いすることになっているので原材料支給の対応になる。
- 旧富田西幼稚園の今後の活用方針については検討しているところである。予算の関係で今すぐに解体するという状況にはない。
- 市内の避難所は全て指定避難所として設定しており、ほのぼの会館は指定避難所である。土砂災害等にも対応できる指定避難所として学び・交流プラザもある。指定避難所だけでなく平日頃から親戚の家、ホテルや旅館、頑丈なマンションや高い建物などの安全な避難場所を家庭内で確認してほしい。指定避難所は、住民の命を守ることを第一に考え、快適性についても検討したい。
- 災害時には地域の皆様に手を貸していただきたい。避難行動要支援者名簿が各自治会長に伝わるのが理想的である。他の地区で、自治会単位で防災計画を検討している例もある。自主防災組織によっては避難行動要支援者名簿ができている地域もある。コロナ禍で防災訓練ができていない状況であるが、開催することで課題が見つかるかもしれない。
- 楠本浄水場は水質検査を行っており、菌の問題があり、車の立入りは難しい。御意見の1つとして受け止めたい。